

途上国に今年も笑顔を送る

室蘭・海星学院高生徒会



たくさんのおそろばんが集まり、汚れなどないか確認作業をする生徒会メンバー

JICA通し 市民の提供感謝 送る学用品

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長)の生徒会(一戸孝代会長)が、国際協力機関(JICA)の「世界の笑顔のために」プログラムに3年連続で参加した。開発途上国に送るスポーツ用品や学用品が今年も多く集まり、協力してくれた市民らに深く感謝している。

新聞やラジオで提供を呼び掛けたおそろばんは253台が集まった。そのほか、書道用具セットや野球バット、柔道着、バドミントンラケットなどが市民らから寄せられた。

一戸会長は「私たちの力だけではこんなに多くの品物は集まらなかった。市民の皆さまのおかげです。開発途上国の人たちに一人でも多く喜んでいただければ」と笑顔を見せていた。

同高では、引き続きおそろばんなど使わなくなった品物の提供を呼び掛けている。詳細は同高、電話0143・46局8888番(月曜～金曜の午前9時～午後5時)へ。

同プログラムは、開発途上国で必要とされているスポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品の提供者を日本国内で募集し、JICAが派遣中のボランティアを通して、世界各地へ届けている。(石川綾子)